

焦げ付きの対処法

焦げ付きが残っていると、毎回同じ部分が焦げてしまいますので、しっかり取り除いてください。

本体

- 1) 本体に水を張り、弱火でコトコト沸騰させます。
※重曹を入れるとさらに焦げが取れやすくなります。
- 2) ふやけて取れやすくなったところをタワシなどで取り除きます。
※頑固な汚れには、クレンザーや金属タワシなどを使い取り除いてください。
- 3) 塗装や油膜が取れてしまいますので、通常のお手入れ同様水気を拭き取って、軽く火にかけ乾燥させたのち、薄く油を塗ってください。次回のご使用時に、多めの油で揚げ炒めをしていただくとより効果的です。

蓋

- 1) 市販のガラストップ専用クリーナーを焦げ付き部にのせて、数分間放置してください。
- 2) ふやけてとれやすくなったところを、**丸めたラップ**でこすり落としてください。
※やわらかいスポンジでは力が逃げてしまい、十分に落とすことができません。
※金属タワシや研磨剤付ナイロンタワシはご使用にならないでください。表面にキズをつけることがあります。
- 3) 水でクリーナーを洗い流した後、通常のお手入れ同様水気を拭き取って、オーブントースターや魚焼きグリル等でしっかり乾燥させてください。

サビが発生した場合の対処法

- 1) クレンザーや金属タワシなどでこすり落としてください。
- 2) 塗装や油膜が取れてしまいますので、通常のお手入れ同様水気を拭き取って、加熱して乾燥させたのち、薄く油を塗ってください。

◆耐熱シリコーン塗装について

本製品は、鋳物生地の上に耐熱シリコーン塗装を施してある製品です。塗装の主目的は、お客様のお手元に届くまでの「サビの抑制」です。固めのスポンジやタワシなどで強くこすると薄くなったり、焦げ付きをとる際の摩擦で剥れる場合がございますが、油をなじませていくことによりそのままお使いいただけます。また剥れた塗装は口に入っても無害ですのでご安心ください。

◆廃棄の方法

廃棄する場合は、各自治体の指示に従って廃棄してください。

家庭用品品質表示法に基づく表示

材質	：本体 ダグタイル鋳鉄（耐熱シリコーン塗装） 蓋 ダグタイル鋳鉄（耐熱シリコーン塗装）、ガラスセラミックス ハンドル ダグタイル鋳鉄（耐熱シリコーン塗装）
使用区分	：電磁調理器、直火、天火
耐熱温度差	：蓋ガラス 400℃
寸法	：L 238.5×D 192×H 50 mm
満水容量	：1.2L
重量	：1.3kg
製造販売元	：鳴海製陶株式会社
日本製	

製品についてお気づきの点がございましたら下記までご意見をお寄せください。

鳴海製陶株式会社
〒458-8530 名古屋市緑区鳴海町伝治山3番地
ホームページ <http://www.narumi.co.jp/>

お客様サービス窓口
☎ フリーダイヤル 0120-956710
✉ Eメール customer@narumi.co.jp

NARUMI × UNILLOY
見える調理鍋

+visi
プラスヴィジ ココット



取扱説明書

この度は、見える調理鍋「+visiココット」をお買い求めいただきありがとうございます。
この商品をご家庭での調理に使用するものです。正しく使用していただくためにこの取扱説明書を必ずお読みください。
また、お読みになられましたら、大切に保管してください。

◆対応熱源



◆安全にお使いいただくために

この取扱説明書は製品を安全に正しくお使いいただき、お客様の危害や損害を未然に防止するためのものです。表示記号の内容をよく理解して、本書の内容（指示）にしたがってください。

- ⚠ 傷害や本体の損傷を負う恐れがある内容です
- 🚫 してはいけな内容です（禁止行為）
- ❗ 必ず守っていただく内容です

◆安全上のご注意



- 使用可能な熱源は、IH・直火・オープン・トースター・電気&IH魚焼きグリル・ラジエントヒーター・ハロゲンヒーター・シーズヒーターです。それ以外では使用しないでください。
- お使いの熱源に付属の取扱説明書に従って使用してください。**使用に適さない場合は使用しないでください。**
- ご使用前に必ず各部に異常がないことをご確認ください。き裂、破損、へこみ、曲がり、緩みなどの異常がある場合は、使用しないでください。
- ガラスにヒビ、カケ、キズの入ったものは、思わぬ時に破損することがありますので絶対に使用しないでください。
- 過度な空焚きをしないでください。火災の原因になります。
- 不安定な場所で使用しないでください。本体の転倒などにつながり重大な事故の恐れがあります。
- 加熱中は火元を離れないでください。
- 縁まで水などを満たした状態で使用しないでください。吹きこぼれの原因となり危険です。

注意



- ごくまれに、突然沸騰して中の液体が吹きこぼれることがあります（突沸現象）。加熱中は顔や手を近づけないでください。
- 沸騰時にカツオ節や顆粒状調味料などの乾燥した固形物を入れると吹きこぼれることがありますので、一度に入れずに少しずつ入れてください。
- 電気、ガス、石油ストーブなどの暖房器具上では使用しないでください。転倒や過熱によるやけどや財産を破損する恐れがあります。
- 本体や蓋に強い衝撃を与えないでください。変形や破損の原因になります。
- 蓋は超耐熱ガラス製で熱に強いガラスですが、衝撃に強いガラスではありません。お玉やフライ返し等で強い衝撃を与えないでください。割れやカケ、ヒビなど破損の原因になります。
- 本体や蓋が変形や破損した場合は使用しないでください。
- 改造して使用しないでください。
- 幼児の手に触れないように注意してください。
- 調理後は内容物を保存しないでください。サビの発生原因となりますので他の容器に移してください。
- 食器洗浄機では洗わないでください。サビの発生原因となります。
- 調理油過熱防止装置付きコンロで使用する場合は、温度センサーの上面と本体裏面が密着していることをご確認ください。コンロの中央に載せ、本体裏面に著しい汚れや付着物がついたまま使用しないでください。過熱防止装置の動作を妨げ火災の原因になります。
- 異なった金属製品に重ねて使用・保管しないでください。サビ（キズ、もらいサビ）の原因となります。



- 加熱中、加熱後、本体及び蓋、ハンドルが高温になります。ミトン等を使用し、やけどに注意してください。
- ハンドルがガタガタ動く場合は、付属の六角レンチで増し締めし、確実に固定されたことを確認してから使用してください。締め付けの際は、適度な力加減で行い、ネジ山の損傷やガラスへの過度な加重にご注意ください。
- ガス機器でご使用の場合は、窓を開けるなど必ず換気をしてください。一酸化炭素中毒の恐れがあります。**
- 沸騰時にカツオ節や顆粒状調味料などの乾燥した固形物を入れると吹きこぼれることがありますので、一度に入れずに少しずつ入れてください。
- 長くご使用の場合、まれに、ガラスが一部白濁する可能性があります。ご使用には問題ございません。
- 蓋のガラスは、破損すると鋭利な破片になりますので、ケガをしないよう十分にご注意ください。
- トースターや魚焼きグリルでご使用の際、扉の開閉はゆっくりしていねいに行ってください。グリル扉が途中で止まらず落下したり、バランスが崩れて転倒し、やけどや損傷のおそれがあります。

◆使用方法

【はじめてお使いになる前に】

商品に破損やガタつきがないかご確認ください。
蓋の側面、ハンドルの付け根にネジがあります（4か所）。付属の六角レンチでゆるみがないことを確認してください。ゆるみがある場合は増し締めしてください。

付属の六角レンチと予備ネジは、大切に保管してください。

ガラスのヒビ、カケ、キズのないことを十分にご確認ください。

食器用洗剤をつけたスポンジ等で洗い、表面についたゴミやほこりを落としてからご使用ください。

【日々のお手入れ】

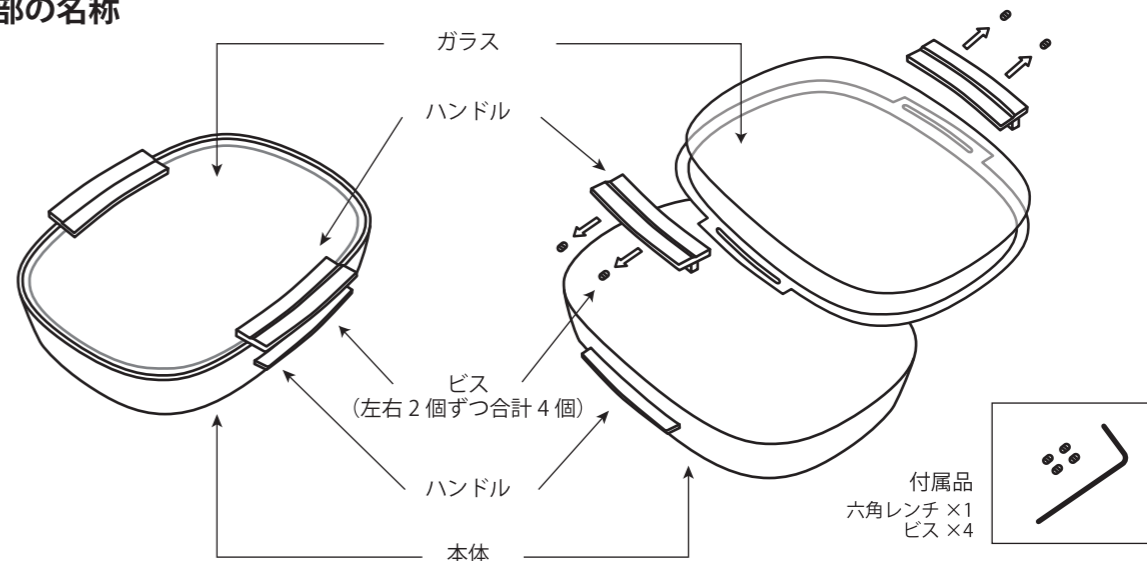
本体

- 洗剤を使わずお湯で洗浄し、乾いた布などで十分に水気を拭き取って、軽く火にかけ乾燥させ、熱いうちに本体の内側に植物油や植物性ショートニングを薄く（少量の油を馴染ませたキッチンペーパーで拭く程度）塗ってください。
- 調理後、あたたかいうちですと汚れも落ちやすいです。
- 長期間使用しない場合は、新聞紙に包んで保管してください。新聞紙の油成分がサビの抑制に効果的です。

蓋

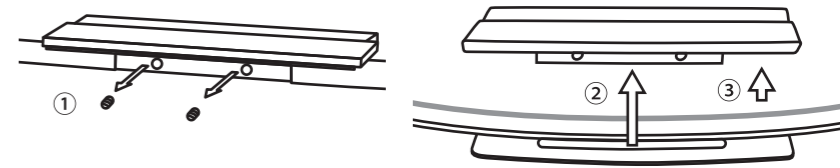
- 食器用洗剤をつけたスポンジ等で洗い、乾いた布などで十分に水気を拭き取って、オーブントースターや魚焼きグリル等でしっかり乾燥させてください。
- ガラスに付着した汚れは、市販のガラストップ専用クリーナーやクリームクレンザー等でこまめに除去してください。その際、金属タワシや研磨剤付ナイロンタワシはご使用にならないでください。表面にキズをつけることがあります。
- ハンドルがガタガタしたらネジが緩んでいるので、付属の六角レンチで締めなおしてください。
- 蓋枠とガラスは外して洗浄することができます。製品に付属の六角レンチでビスを外すと別々にお手入れできます。ビスが小さくて紛失しやすいので、トレイの上などでの作業をお勧めします。再度組み立てる際は、ビスを1か所ずつ完全に締めてしまうのではなく、4か所仮締めで取り付け後に、1か所ずつ4か所、しっかり締めていくと楽に取り付けられます。組立後は、ビスに緩みがないことをご確認ください。

◆各部の名称



<ガラスの外し方>

- ①4か所のネジを六角レンチで外す
- ②ハンドル2か所を上方向に外す
- ③ガラスを外す



IH（電磁調理器）での使用について

- IH（電磁調理器）の取扱説明書に沿って、正しくご使用ください。
- IH（電磁調理器）用汚れ防止マットは使用しないでください。
- IH（電磁調理器）は火力が非常に強いので、強火での使用は変形の原因となります。中火以下で使用してください。
- 効率よく加熱するために、底に付いた水滴はきれいに拭き取ってください。
- ヒーターの中央部に置いてご使用ください。
- IH（電磁調理器）の振動が共鳴し、音が発生することがありますが異常ではありません。鍋の位置をずらすか、置き直してください。
- IH（電磁調理器）は熱源部分のみ加熱するため、最初から中火だと熱源の上部だけあたたまり、他の部分は温度が上がっていない状態になります。弱火でゆっくりあたためていただき表面全体の温度を均一に近づけることで、焼きムラや焦げ付き防止に効果的です。